

肥大化し続けるファイルサーバー なんとかしないと大変だ！

使っていくうちにどんどん容量が大きくなるファイルサーバー。最近では画像や映像を業務に使うことも増えており、容量増大のスピードは以前よりもさらに高くなっています。またオンプレミスサーバーならではの問題もあり、クラウドへの移行で問題に直面するケースも。

たとえば…

ファイルサーバーの**容量不足**で、
手間とコストのかかる**ストレージ増設**が必要！

サーバーの**保守期限**が来たので、
新しいサーバーに**データ**を移さなければ！

クラウドストレージを使いたいが、
容量課金なので**予想外**の**コスト**がかかる！



このようなファイルサーバーの問題は

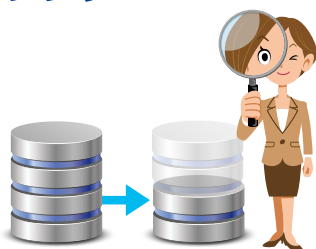
ZiDOMA dataで解決できます。

ZiDOMA dataはファイルサーバー分析&移行ソリューション

ZiDOMA dataでできること

ファイルサーバーの 適正なサイジング

ファイルサーバーを分析することで、全ファイルのアクセス状況を見える化します。例えば、アクセス頻度の低いファイルを他の安価なストレージにアーカイブすることで、ディスクの利用を最適化できます。



容量不足への計画的な対応

ファイルサーバーの使用率をZiDOMA dataで定期的に分析することで、容量の逼迫を事前に予測することが可能になります。これによってファイルサーバーの入れ替えや増設を、計画的に実施できるようになります。



事業継続に欠かせない ディザスタリカバリ(DR)の第一歩

ファイルサーバー分析によって、複製しなければならない重要データを明確化することも可能です。ZiDOMA dataにはコピー機能が備わっているため、このようなファイルを遠隔地のファイルサーバーに複製することで、事業継続に欠かせないDR機能も簡単に実現できます。



クラウドストレージに データを複製可能

ZiDOMA dataのコピー機能を活用することで、クラウドストレージへのデータ複製を自動的に行うことも可能です。また事前にファイルサーバーを分析して不要なファイルを削除した上で、クラウドストレージへと移行することもできます。



ZiDOMA dataの主な機能

ファイルサーバー分析機能

ファイルサーバー内にあるフォルダやファイルの容量はもちろんのこと、占有率や使用率、所有者、作成日、更新日、アクセス頻度などを可視化し、グラフ化できます。またフォルダをドリルダウンしながらの分析も可能です。

ツリー表示部

グラフ表示部

リスト表示部

ドリルダウンの分析が可能に

フォルダの鮮度と容量を色彩で表現

データの移動・コピー機能

ファイルサーバー内のフォルダやファイルを、事前に設定したポリシーに従って、自動的にNASストレージやクラウドに移動・コピーできます。フォルダ構造や権限をそのまま移動・コピーすることも可能です。



製品を熟知した専門家がとことんサポート。ZiDOMA dataの導入はデジタルテクノロジーにお任せください。

デジタルテクノロジーなら

**アセスメントから
お手伝い**

ツール提供だけではなく、アセスメントからお手伝い。長期利用がないためアーカイブすべきファイルや削除可能なファイルの特定、移行先に移行すべきファイルの明確化など、プロの視点で分析してご提案します。

デジタルテクノロジーなら

**サーバーやAWSも
ご用意**

移行先のサーバーやAWSサービスも、ZiDOMAと一緒にご提供可能。ハイブリッドなファイル環境も、ワンストップで実現できます。

デジタルテクノロジーなら

**継続的なモニタリングも
ご支援**

ZiDOMA導入後の継続的なモニタリングサービスもご紹介します。例えばAWS上で容量が急増しそうな場合には、その兆候が見つかった時点で迅速にご連絡。ハイブリッド環境でのサイジング最適化も容易になります。



デジタルテクノロジー株式会社

<https://www.dtc.co.jp/>

[東京] 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-23-1 エンパイヤビル
MAIL : sales@dtc.co.jp

[大阪] 〒530-0001 大阪市北区梅田1-13-1
大阪梅田ツインタワーズ・サウス 15F
MAIL : osaka@dtc.co.jp